



育児や介護支援を充実させた ダイバーシティな職場づくり。

秀和建设(株)
専務取締役 伴 雅史 さん

こんな取組を
推進しています!

- 1 男性社員の育児休業を推進**
配偶者が出産を控える男性社員には個別に育児休業制度を案内
- 2 「女子部会」で女性社員の活躍の場を広げる**
女性を積極的に登用しダイバーシティな職場を目指す
- 3 介護をサポートするセミナーを開催**
外部講師による介護セミナーで「仕事と介護の両立」を社内全体で学ぶ

社 員のほぼ半数が20代。定年まで働いてもらいたいの
で、職場でも家庭でも充実感をもって過ごせるよう、
多様な人たちが働きやすい職場環境づくりを重視しています。

まずは今後を見据えて男性社員が育児休業を取得しやすいよう、制度の周知や環境づくりを推進。配偶者が出産を控える男性社員には、個別に育児休業制度を案内するなどきめ細やかに対応していきます。

また、子どもの行事休暇や看護休暇の取得促進には12年前から取り組んでいます。これまで女性だけでなく男性も取得し、家族にも喜んでもらっていますね。

あわせて女性社員の活躍の場も広げています。「女子部会」を設立し、専門家ならではの知識を少人数制のゼミ形式でお客さまに講義する「おぢやまちゼミ」にも参加しました。今後はさらに女性社員の比率を高めて、積極的に登用し、ダイバーシティの進んだ職場にしていきたいです。

あらゆる職場環境の充実をさらに後押しするために進めていく必要があるのが生産性と業務効率の向上です。今年からクラウド型の施工管理支援システムを導入。今まで会社まで

戻ってこないとできなかった作業が現場にいてもできますし、データを一元化し集積することが会社の強みになっていくと考えています。人員配置についても最近まで部署の管理者が全ての予定を決定していましたが、今は状況を把握している現場の長がするように変えました。管理側と現場をグループラインなどでつなぎ、円滑に現場作業を行っています。

社員の平均年齢が41歳なので、介護の問題も見据えています。介護の専門家を外部から招き、「仕事と介護の両立」についてのセミナーを社内でも年2回開催。介護をしながらでも安心して働くことができることを前もって学んでおいてもらうことが大切です。

社内外のコミュニケーションの良さも働きやすさにつながりますので、毎月、全社員で行う「安全大会」、忘新年会、花見、レクリエーションや協力会社と合同の安全大会・懇親会などイベントも盛んです。当社とお客さまとの間で「秀和友の会」を作り、芋掘りなど年2回、親しく交流しています。今年創立31周年を記念し、社員の家族を招待して仕事の現場を見学してもらう催しも計画中です。

会社と現場の職人さんに支えられて 育児と介護をしています。

現在は建築部主任として、主に現場管理を担当しています。

家族は妻と9歳の長男、2歳の次男。妻が夜勤の日は、子どもたちのパパ兼ママとして、学校の送迎や食事の準備もします。日々の予定が子どもに振り回されるので重荷に感じることもありますが、妻は育児、家庭の事を私以上に頑張っています。頼まれたときは協力し、少しでも負担が減るように可能な限り協力していきたいです。

一方、お迎えのとき、私が行くと走って出迎えてくれるわが子の姿に、一日の疲れが癒され、子育ての苦勞も吹き飛びます。

この業界では朝の打ち合わせ、準備等で一日の工事が進んでいきます。家庭の都合でいろいろな方に迷惑を掛けないように予定を組みますが、自分一人ではどうにもならない事が出てきます。現場でよく「大変だね」と言われますが、職人さんや会社の支えがあってこそ仕事を全うできるのだと思います。

イクメン社員
小林 勝央 さん(39歳)



秀和建设株式会社

●所在地:小千谷市 ●業種:建設業 ●従業員:32人

【業務内容】中越地区を中心に民間企業の工場・店舗や個人住宅(夢ハウス小千谷店)の新築・リニューアル・リフォーム、新潟県・小千谷市等の公共工事を行う総合建設業者。LEDや省エネ建材分野への進出や地域貢献活動にも積極的な取り組みを行う。



私たちはイクメン応援宣言企業です!

新潟県では、男性労働者が育児に参加しやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業を「イクメン応援宣言企業」として登録しています。

もっと詳しく知りたい方は

にいがたイクメン応援宣言

<https://niigata-ikumen.jp>